

ユーグレナグループ動物実験方針

当社グループは、動物実験の廃止に向けた世界的な動きを尊重しています。また、文部科学省の定める「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」に沿い、動物福祉に関する倫理上の義務に配慮した下記の方針に基づき、活動を展開しています。原料および商品の安全性確保は何よりも重要であり、安全性情報を広く収集し、動物実験代替法を積極的に取り入れていくとともに、当社グループの安全基準を定め遵守しています。

1. ヘルスケア事業における自社化粧品の開発、製造に関する動物実験は原則実施せず^{※1}、代替法にてその安全性、有効性を確認します。

※1 万一、社会に対して安全性や有効性の説明責任が生じた場合や、一部の国において行政から求められた場合を除く

2. 化粧品以外の分野においても、可能な限り動物実験を実施しない方針であり、継続的に動物実験代替法の試験法を検討します。一方、自社原料（微細藻類ユーグレナなど）などの素材開発や機能性に関する動物実験は、安全性、有効性の確認のため、適切な代替法がない場合や法規制上求められる場合に実施する可能性があります。実施する場合は、科学的な妥当性を重視しつつ、動物愛護での3Rs（Replacement, Reduction, Refinement：置き換える、減らす、改良する）方針に基づき、動物実験の最小化・改良に努めます。
3. 動物の飼育や動物実験を行う委託先・連携先には、動物福祉に関する法令や3Rs方針を遵守し、動物実験委員会や倫理審査委員会にて承認された実験計画のみ実施することを求めます。

制定日 2024年5月31日